平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	基礎学力講座・数学(英語名(Basic Aptitude Course(Mathematics 授業コード A031714			
担当教員名	徂徠 三十六			
配当学年	1	開講期	前期	
必修·選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意また は 履修条件	ノートは必ず準備し、毎時間の予習、行	复習を必ず実行してく	ださい。	
受講心得	授業中の私語は厳禁です。また、欠席	・遅刻はしないように	:心掛けましょう。	
教科書	大学新入生のための数学入門増補版	(共立出版)		
参考文献及び指定 図書	授業で指示します。			
関連科目				

授業の目的	就職試験でも、数学的な考え方や判断力をみる問題が増えていますが、数学は専門科目を学習する上で『道具』として欠かすことができません。このため高校までの数学の内容が理解できていないと、専門科目の内容を理解することが難しくなります。この授業では、全員が『道具』である数学を一通り使いこなすことができることを目的としています。
授業の概要	皆さんが中学・高等学校で既に学習した内容の復習が大半です。皆さんがやや理解に苦しんだと思われる部分を中心に学習します。問題演習が主となります。宿題は毎時間課しますので積極的に挑戦し、次時までに必ずやっておいてください。なお、授業内容や進度は、クラスによって調整する場合があります。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : フレッシュマン・スタートアップセミナー	
第2週:数と式の計算1	(予習)教科書p.2
教科書p.2 整数について学習します。整数について理解し、四則演算の規則に従って、	(復習)教科書p.136
式を変形しながら計算ができるようになりましょう。	練習問題1.1 (宿題)配布課題
第3週:数と式の計算2	(予習)教科書p.2
教科書p.2 分数について学習します。分数について理解し、四則演算の規則に従って、	(復習)教科書p.136
式を変形しながら計算ができるようになりましょう。	練習問題1.1
hda - 1777 - 1881 - 1 19 1 1882	(宿題)配布課題
第 4 週:数と式の計算3	(予習)教科書p.2 (復習)教科書p.136
教科書p.2 小数について学習します。小数の計算は統計計算に使われています。小数 について理解し、四則演算の規則に従って、式を変形しながら計算ができるようになりま	(後日)教科音p.130 練習問題1.1
について理解し、四則漢昇の規則に促って、式を変形しながら計算ができるようになりよしよう。	(宿題)配布課題
第5週:数と式の計算4	(予習)教科書p.4
教科書p.4 展開公式について学習します。展開公式を理解し、公式を利用して式を展開	(復習)教科書p.136
できるようになりましょう。	練習問題1.3
第6週:数と式の計算5	(予習)教科書p.5
教科書p.5 因数分解について学習します。因数分解を理解し、展開公式と因数分解の	(復習)教科書p.137
関係について学習しましょう。また、因数分解公式を利用して式を因数分解できるように	練習問題1.4
なりましょう。	(宿題)配布課題
第7週:数と式の計算6	(予習)教科書p.6
教科書p.6 平方根について学習します。平方根について理解し、展開の公式を利用して	(復習)教科書p.137 練習問題1.5
計算できるようになりましょう	株百円越1.3 (宿題)配布課題
第8週:方程式1	(予習)教科書p.11
71 × 72 · 73 12 79 ·	

教科書p.11 連立一 方を理解し、未知数	次方程式について学習します。消去法 を求められるようになりましょう。	、加算法など、未知数の求め	(復省)教科書p.138 練習問題1.10 (宿題)配布課題
	程式について学習します。二次方程式 いて、解法を理解し、解答できるようにな		(予習)教科書p.12 (復習)教科書p.138 練習問題1.11 (宿題)配布課題
第10週: 関数とグ ラ 教科書p.14 関数に かについて理解しま		女にはどのような種類がある	(予習)教科書p.14 (復習)講義課題 (宿題)配布課題
	ラフ2 ついて学習します。直線であらわされる グラフを描けるようになりましょう。	ら一次関数について理解しま	(予習)教科書p.15 (復習)教科書p.139 練習問題2.1 (宿題)配布課題
第12週:関数とグラ 教科書p.16~p.18) て理解しましょう。	ラフ3 放物線について学習します。放物線であ	あらわされる二次関数につい	(予習)教科書p.16~p.18 (復習)教科書p.139 練習問題2.2 (宿題)配布課題
第13週:指数 教科書p.42~43 指 ましょう。	数について学習します。指数の定義や	指数の表し方について理解し	(予習)教科書p.42~43 (復習)教科書p.143 練習問題4.1 (宿題)配布課題
教科書p.44 指数法則について学習します。指数法則を理解し、指数法則を利用してみ (復習) ましょう。			(予習)教科書p.44 (復習)教科書p.143 練習問題4.2 (宿題)配布課題
第15週:指数法則2 教科書p.45 指数法則を用いた計算について学習します。第14週で学習した指数法則を利用して、やや複雑な計算をしてみましょう。			(予習)教科書p.45 (復習)教科書p.143 練習問題4.3 (宿題)配布課題
第16週:期末試験 経営経済学部共通試験を行います。試験範囲や持込みについては別途指示します。講 義内容の理解を確認します。(配点70点)			
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	「演習等形式」	
備考	(3)アクティブ・ラーニング 演習に重点をおいた授業を行ないます	「アクティブ・ラーニング科目」 - -	

○単位を修得するだ	〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・息欲・態	①理由のない遅刻や欠席がなく、私語をせず講師の話を傾聴することができる。 ②不明点について、積極的に質問し、理解を深めることができる。 ③専門課程で必要な数学の基礎を定着させるために、自主学習を行うことができる	
【知識·理解】	①専門課程で必要な基礎の数学を計算できる。 ②関数や方程式のグラフなどから極限の概念を理解することができる。 ③指数の基礎を理解する。	
【技能・表現・コミュニ ケーション】		
【思考·判断·創 造】	①数学的な考え方や判断をすることができる。	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評	期末試験・中間確認等	レポート・作品等	発表•·	
価方法の関係および配点	(テスト)	(提出物)	(無形	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。	30点	10点	15点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	20点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。	20点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会 に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	自分で考え、努力した成果を評価の対象とします。	
発表・その他 (無形成果)	授業への出席と取り組み状況を評価の対象とします。	